

十一月四日、御即位を賀せられ進獻し給ふ、信國の御大刀をはじめ、かたぐにまいらせ給ふ品共を、御使酒井雅樂頭忠恭にさづけらる。十二月十三日、けふ御即位ありしをもて、高家中條大和守信復して、日門隨門を賀せらる。

〔後明院殿御實記二十三〕明和八年四月朔日、松平隱岐守定靜、主上桃園後園御即位の賀使を奉はり、大

友近江守義珍は、大納言殿より御即位賀使奉はり、どもにいとま給はる。五日、けふ松平隱岐守定靜に、主上仙洞に獻せらる、御大刀、女院准后に進らせらる、目錄を授らる。○節略

〔仁孝天皇御即位記〕

九月○文化十四年廿二日御參賀

攝家中 傳奏 議奏 院傳 評定

廿三日

一品宮 兵部卿宮 中務卿宮 常陸宮 上野宮 前右大臣 德大寺前右大臣 前内府

議同三司 近習公卿殿上人 廿二日不參評定 近習小番御免 西園寺前中納言 院祇候

公卿殿上人

廿四日

内々門跡 黒御所々々 廿三日院祇候公卿殿上人不參分 内々公卿殿上人 同末勤 内

御番御免 水無瀬少將

廿六日

仁和寺宮

廿八日

大覺寺門跡 大乘院門跡 三寶院門跡 蓮華光院門跡 實相院門跡 大乘院新門跡 安